

住民・職員臭気モニタリング結果について

1 目的

現在問題となっている悪臭公害について、悪臭公害の実態を把握することにより、原因事業所への指導の充実を図り、悪臭問題の早期解決に資することを目的とした。

2 モニタリング方法

9/10～11/29 までの期間において、1日1回以上臭気を調査し、調査時刻、風向き、風の強さ及び次に示す臭気強度の状況を「調査票」に記入する。ただし、諸事情により、調査できない日があった場合は、欠測とする。

調査時刻は、これまで悪臭を感じた時間帯を勘案するなど、各自の判断に委ねる。

調査回数は、1日に1回以上であれば、何回実施しても構わない。

調査報告は、記入した「調査票」を1週間分（月～日曜日）まとめて、市へ報告する。

<3段階臭気強度表示>

臭気強度	内容
0	無臭
1	臭う
2	強く臭う

臭気強度の前に、臭いの種別（M＝養豚事業所、S＝堆肥製造事業所、X＝両者又は不明）を表記

3 調査結果

別紙地図及びグラフを参照。ただし、地図及びグラフは、モニターが養豚事業所及び堆肥製造事業所からの臭気とはっきり認識した臭気のみ対象とした。また、地図には、自宅等の測定地点外での臭気確認状況も表示しているが、グラフは、測定地点における臭気を確認した場合のみ対象とした。

所感を次のとおり示す。

養豚事業所について

養豚事業所からの臭気は、事業所に近い南原石垣町周辺に恒常的に流れる傾向があり、強い臭気が流れる頻度も高い。また、10/22の結果が示すように、緩い南風の気象条件下では、臭気は、ほぼ松川沿いに南下し、大字芳泉町付近から、臭気が流れる範囲が徐々に広がる傾向にある。なお、グラフから分かるように、臭気が確認される時間帯は、夕方、夜間、朝に多いのが特徴的である。

堆肥製造事業所について

堆肥製造事業所からの臭気は、事業所に近い大字笹野周辺に流れる傾向があり、風向きによっては、南原石垣町にも流れることがある。また、通町や東部方面へも臭気が流れることが多く、時折その臭気が強い。なお、グラフから分かるように、臭気が確認される時間帯は、ほぼ全時間帯に及んでいるものの、特に夜間に多いのが特徴的である。

総括

両事業所の臭気は、ほとんど風がない状況下では、松川沿いを中心に市街地方面へ流れやすく、加えて、2つの臭気は、混ざり合っていると推測される。そのため、どちらかの事業所の臭気が強くなると、それが苦情の申立てにつながっていると思われる。

なお、大町や城南周辺へは、臭気が流れる頻度が低い結果となっているが、このことは、昨年まで多かった市街中心部からの苦情申立て件数が、今年は激減していることと整合している。

今回実施した臭気モニタリングは、欠測があること、測定時刻が一定でないこと、モニターの感覚により臭気の強度が変わるということがあるため、正確な状況を判断することは困難な面があるものの、臭気のおおよその拡散状況を把握することができたことが、大きな収穫であった。また、実施時期についても、苦情が多く寄せられる気温が高い時期に実施した方が、より効果的であると思われた。

- 臭気モニタリング協力者

住民 25 名

職員 8 名